



平出隼仁議員

町長2期目への 挑戦で若者の人 口対策は

リニアを視野に 都心からの移住を 試みる

質問：…任期満了につき、2期目に挑戦されるとのこと。人口減少対策として、若者の人口増は喫緊の課題。特に地域間格差が広がる本郷・境小学校区域の対策は待ったなしだ。これに対する施策は。
町長：…まずは都会の若者が富士見町に定住したいと思うような施策を、2期目で試みたいと考えている。富士見町に住みたいと思わせる要素は、田園風景広がる環境。大地震にも強い地盤があ

り、災害時に必要な水資源や電力の確保することにより、富士見町に住めば震災時も凌ぐことができるという安全が、移住させる条件として考えられる。これに併せて仕事の確保が必要になるが、農業をはじめ情報技術による在宅ワークを主に考える。これにより女性の起用も広がり、共働きによる収入確保もできる。

題なのは、富裕層の移住者が満足するようなハード整備がされていないこと。この移住者の確保を本郷・境小学校通学区域と捉え、重点的に移住を促し、過疎化が進む地域を手当することが必要と考える。具体的なハード整備をどう考えるか。

これも含め、最大の恩恵はリニアの開通。開通に合わせ、富士見町から最寄りの甲府駅まで専用バスを用意すれば、東京が通勤圏になる。子育ては環境の良い富士見で稼ぐことは東京でと、理想的な条件が揃っていると考える。

土地利用は農地の青地と関連性があるため、この時点で具体的なことは言えない。

質問：…県もリニアを睨んでいる。東京圏からの入口である富士見町はどのように関わっていくのか。

町長：…駐車場の確保や高速バスの設置を検討するが、国や県と協議していく問題。利用価値を高め地域活性化に貢献したいと考える。

質問：…軽井沢が「通勤圏」になった事例が分かり易いと考えて。また、富士見町は子供に対する医療補助等は充実しており、他の自治体に引けを取らない。実態として問

□その他の質問
*再々度、農振の見直しについて



三井新成議員

乳製品加工施設 今後の活用は

地元の牛乳を使っ た加工施設として 公募決定する

質問：…施設の今後の活用をどう考えているか。
町長：…事業経営について、新たに指定管理者を一般公募する。公募選定委員会では要項をまとめ、今月中に公募を行う。
質問：…酪農ミルク工房としての事業を、どう評価しているか。
町長：…財務状況の悪化を見る中で、トップセールスも行い、拡販に努力したが、販売が減少した。コストを賄えない状況が続いたことから、基金が1000万円を切る段階

で事業を中止することになった。

質問：…町の指定管理以外の活用方法は。
町長：…むらおこし事業の補助金で施設を建てているので、ミルク・乳製品以外はできない。

副町長：…平成18年の地方自治法改正により、町の直営か指定管理の二者択一となった。他のむらおこし事業との関連もあり、当時としては公募はそぐわないとされた。

産業課長：…指定管理の妥当性については、適法の締め付けがあり、当初の目的以外に使用すれば、補助金の返還条件につながるため、補助目的に沿って公募をする。

質問：…指定管理者を募集するにあたり、従来の加工品のほかに、新たに商品化できる製成品を作ってもらおう考えは。
町長：…指定管理者として、地域資源の活用を取り込み、商品化すること

は難しいが、近隣市町村を見れば、チーズ工房等、開発公社がパノラマで作ることも考えられる。
質問：…新たな商品を作るための施設の拡充、移動は可能か。
町長：…現状の設備で使われないものは撤去する。新たに指定管理者が決まれば、管理者の責任で整備する。

質問：…条例の範囲内で、施設の利用条件を緩和することは可能か。また、募集要件の変更等はあるか。
町長：…事業運営を良くすることが、行政の責務と考える。施設の耐用年数は鉄骨造で38年。この期間内は、目的のとおり使用してもらおう。使用料は管理者からの提案制とし、補修は使用者が負担する。